

毎月20日は
ペットフードの日

一般社団法人
ペットフード協会

入梅前に知っておきたい ペットフードのおいしい保存法



しっかりと衛生管理がされているペットフードですが、保存状態が悪いと未開封でも品質が劣化し犬や猫の体調不良に繋がる可能性があります。どのフードも、未開封のものは直射日光が当たらない温度変化の少ない場所で保存し、賞味期限内に使い切ります。また、開封後はなるべく早く消費しましょう。今月は、上手なフードの保存方法について、お知らせします。

ドライフード

ドライフードは、比較的長期間保存できますが、開封後は時間とともに香りや食感が失われるのでなるべく早く消費するのが基本です。開封したフードは、封を閉じ、冷暗所で保存します。冷蔵庫に保存すると結露によりカビなどが発生することがあるので要注意。また、食べ残しは、早めに処分しましょう。

缶詰・レトルトフード、手作りフード

一度、開けると酸化、腐敗する劣化スピードが早いので、開缶、開封後はなるべく早く消費しましょう。開封後のフードは出っぱなしにせず、別の容器に移し替えて冷蔵庫で保存し、出来るだけその日のうちに使い切るようにします。家庭用の冷蔵庫では、風味などを損なう場合があるので注意が必要です。セミモイストタイプも、開封したら封をして冷蔵庫に保管し、出来るだけ早く使い切るようにしましょう。



ペットフード/ペットマナー検定公式テキストより